

# コルソス CSDJ リリースノート

対 象： CSDJ-B、CSDJ-H、CSDJ-D  
バージョン： 01.12.00  
リリース日： 2024.3.13

## 1. ファームウェア・アップデートについて

### 1.1 事前確認

バージョン 01.08.00 以前のファームウェアから、バージョン 01.12.00 へファームウェア・アップデートを行う場合、必ず、コルソスのファームウェアをバージョン 01.09.00 へ更新してから、バージョン 01.12.00 へ更新してください。

(バージョン 01.08.00 以前のファームウェアから、バージョン 01.12.00 へのファームウェア・アップデートはできません。)

### 1.2 ファームウェア・アップデート手順

総合説明書「工事編」の「ファームウェア・アップデート」に従って実施してください。

## 2. リリース内容

### 【セキュリティ強化】

#### (1) セキュリティ強化対応

Web 画面の定期セキュリティ強化および、OSS の更新を行いました。

### 【機能改善】

#### (2) 履歴データ／帳票データの冗長化

履歴／帳票データの消失対策(リスク軽減対策)として、データベースの冗長化を行いました。また、データベース修復を行った場合、動作履歴に記録を蓄積するように改善しました。

##### (3.1 項参照)

#### (3) 本体故障時の動作履歴内容を拡張

本体故障時、動作履歴に本体故障内容(システム構成エラー、SD カードエラー、ボードエラー(I/O/NCU))を記録するように改善しました。

##### (3.1 項参照)

#### (4) Web 画面改善

ダイヤル先、E メール通報先、データ通報先設定画面をそれぞれ一覧表示に変更しました。

##### (3.2 項参照)

#### (5) データ通信プロトコルのドメイン名対応

データ通報先のドメイン名指定が可能となりました。(これまでは IP アドレスのみ指定可能)

#### (6) アナログ出力制御 6 段階の出力値を細分化

WEB 画面の制御出力画面で、システムデータで設定した出力値 1～出力値 6 以外の値でも制御できるように改善しました。

これにより、設定値に加え、0V～5V までの任意の値でアナログ出力を制御できます。

##### (3.3 項参照)

(7) 簡易集中監視の機能改善

簡易集中監視で、コルソスの本体故障や子機通信異常などの「コルソス故障」を検知できるよう改善しました。(本機能を利用するには、簡易集中監視 V6.0 以上が必要となります。)

その他、今後のための機能拡張を行いました。

(8) 帳票の前後遷移ボタンの追加

日報の前日、翌日遷移ボタン、月報の前月、翌月遷移ボタン、年報の前年、翌年遷移ボタンを追加しました。これにより、一度メニューに戻らなくても前後の帳票を確認することが可能です。

(9) システムデータ設定画面のパスワードマスク表記統一

システムデータ設定画面において、パスワード設定表示が一部マスクされているものとされていないものが混在していましたので、表記を統一しました。

【不具合対応】

(10) 数値表示マクロの四捨五入しきい値を修正

数値表示マクロにおいて、四捨五入が正確に実行されていない問題を修正しました。

本来は、繰り上げる位の数字のみで判断するところ、次の位の数字も判断して繰り上げ処理を行っていました。

具体的には、例えば、数値表示マクロとして「%u」(整数表示)を指定している場合は、「X.50」以上で切り上げる必要がありますが、「X.51」以上で切り上げが実行されていました。

小数点表示も同様で、例えば、数値表示マクロとして「%.2f」(小数点表示)を指定している場合は、「X.XX50」以上で切り上げる必要がありますが、「X.XX51」以上で切り上げが実行されていました。

なお、本不具合は表示マクロのみの問題であり、蓄積データに影響はございません。

### 3. 詳細情報

#### 3.1 動作履歴の情報欄拡張（履歴修復・本体故障）

本体故障時、動作履歴に本体故障内容(システム構成エラー、SD カードエラー、ボードエラー(IOU/NCU))を記録するように改善しました。

また、履歴修復時も同様に動作履歴に記録されます。以下は動作履歴の表示例です。

日付	要因	状態	情報
2023/12/19 16:45:51	本体故障	異常	E_00000001
2023/12/19 16:45:46	本体故障	異常	E_00000011

情報の表示	内容	親機/子機
E 00000001	システム構成エラー(親子通信ボード未実装、拡張 IOU 未実装)	
E 00000010	SD カードエラー	親機
E 00000100	ボードエラー(IOU,NCU)	親機
E 00001000	ボードエラー(IOU)	子機 1
E 00010000	ボードエラー(IOU)	子機 2
E 01000000	履歴修復	親機

※履歴修復は「復旧」のみ記録されます。

#### 3.2 通報先設定画面の一覧表示

ダイヤル先、E メール通報先、データ通報先設定画面をそれぞれ一覧表示に変更しました。

ダイヤル先画面を一例として以下に記載します。(ダイヤル先 01~16 まで一画面表示)

ダイヤル先		
01	名称	ダイヤル先1
	電話番号	
02	名称	ダイヤル先2
	電話番号	
03	名称	ダイヤル先3
	電話番号	
04	名称	ダイヤル先4
	電話番号	
05	名称	ダイヤル先5
	電話番号	
14	名称	ダイヤル先14
	電話番号	
15	名称	ダイヤル先15
	電話番号	
16	名称	ダイヤル先16
	電話番号	

### 3.3 アナログ出力制御画面の変更

WEB画面の制御出力画面で、システムデータで設定した出力値1～出力値6以外の値でも制御できるように改善しました。

以下は、アナログ出力制御画面例です。

名称	状態	制御
アナログ出力1	-	出力値1 <input type="button" value="制御"/>

100.0%(5.000V)～0%(0.000V)を選択し制御可能

- 出力値1
- 出力値2
- 出力値3
- 出力値4
- 出力値5
- 出力値6
- 100.0%(5.000V)
- 99.5%(4.975V)
- 99.0%(4.950V)
- 98.5%(4.925V)
- 98.0%(4.900V)
- 97.5%(4.875V)
- 97.0%(4.850V)
- 96.5%(4.825V)
- 96.0%(4.800V)
- 95.5%(4.775V)
- 95.0%(4.750V)
- 94.5%(4.725V)
- 94.0%(4.700V)
- 93.5%(4.675V)
- 93.0%(4.650V)
- 92.5%(4.625V)
- 92.0%(4.600V)
- 91.5%(4.575V)

以上